



弘前大学とプリメディカが 共同研究講座「予防医学推進学講座」を開設

国立大学法人弘前大学(学長:福田眞作、以下「弘前大学」と)、株式会社プリメディカ(代表取締役社長:富永 朋、本社:東京都港区、以下「プリメディカ」)は、2023年4月1日付で、共同研究講座『予防医学推進学講座(英語表記:Department of Preventive Medicine Promotion)』を開設し、6月6日に弘前大学において開設式を執り行いました。

■講座開設の背景

日本は、「人生100年時代」を迎え、全ての国民が元気に活躍し続ける社会、安心して暮らすことができる社会を創造していくことが求められています。また、近年国民の生活スタイルも多様化し、健康に対する意識も高まったことにより、生活者が「自分の健康は、自分のために、自分で守る」という考え方が広まって、個々人に寄り添った健康ソリューションを提供するニーズが高まってきています。

このような時代のニーズに応えるために、弘前大学とプリメディカは、互いに連携することになりました。

弘前大学 COI-NEXT^{*1}では、2005年から実施してきた「岩木健康増進プロジェクト^{*2}」の超多項目健康ビッグデータをベースに予防医療に焦点を当てた研究を進めております。

また、プリメディカでは、2012年より死亡率が高い/患者数が多い/医療費負担が重い、あるいはQOLを著しく下げるような重大疾患のリスクを定量化することで、個々人の健康を守り、健康意識を高めるためのリスク検査サービスを展開しております。弘前大学 COI-NEXT に参画することにより、日本人の死因の4分の1を占める動脈硬化症発症の予防を目的として、プリメディカが展開している脳梗塞・心筋梗塞リスク検査「LOX-index®」の更なるエビデンス強化と、弘前大学 COI-NEXT で取得している超多項目健康ビッグデータを用いた、より高精度な動脈硬化症発症予防モデルの開発を目指して研究を行ってまいります。

■講座の概要

疾患予防及びヘルスケアといった予防医学の領域は、今後人々の健康を守り、健康寿命と平均寿命の差をなくす上で重要な役割を担うとされています。特に疾患リスク検査は、社会的な影響力が大きい疾患の発症予防を目的としているものの、リスク検査の多くは、preClinicalな段階を予測するためのものであり、検査単独で診断を下せるものではないことから、あくまで研究用検査として実施され、その価値も医療の現場において理解されにくい場合が存在しています。

本講座では、エビデンスの蓄積を行うことで、リスク検査の価値向上と疾患の発症予防につなげ、更なる予防医学の発展を目指すことを目的としています。特に、日本人の死因の4分の1を占めている動脈硬化性疾患の予防につなげることで、将来的な日本人の健康寿命延長を目的とした研究を行います。

<講座名> 『予防医学推進学講座』

<メンバー構成>

伊東 健 (教授:弘前大学大学院医学研究科)

村下 公一 (教授:弘前大学 学長特別補佐/健康未来イノベーション研究機構長)

玉田 嘉紀 (教授:弘前大学大学院医学研究科)
三上 達也 (教授:弘前大学大学院医学研究科)
中路 重之 (特任教授:弘前大学 学長特別補佐/大学院医学研究科)
多田羅 洋太 (助教:弘前大学大学院医学研究科)
富永 朋 (株式会社プリメディカ 代表取締役社長兼 CEO)
山岸 俊哉 (株式会社プリメディカ 執行役員 CTO)
坂爪 洋 (株式会社プリメディカ 検査管理部・部長)
小川 健太 (株式会社プリメディカ 事業開発部・部長)
佐藤 匠造 (株式会社プリメディカ 営業部・部長)
大島 彬 (株式会社プリメディカ 検査管理部・データ解析担当)
小佐々 大熙 (株式会社プリメディカ 事業開発部)

<契約期間>2023年4月1日～2026年3月31日

<設置場所>弘前大学大学院医学研究科附属健康未来イノベーションセンター(青森県弘前市在府町5)

(※1)弘前大学 COI-NEXT 拠点

弘前大学では、2022年10月に文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」に採択されました。弘前大学 COI-NEXT 拠点では、健康を基軸に、若者が地域で働きたいと思える成長産業として魅力的なヘルスケア産業を創出することによって、地域の人々を健康にしながら経済発展し、全世代の人々が生きがいをもって働き続けることができ、心身共にQOLの高い状態での健康寿命を延伸する、well-being な地域社会モデルの実現をめざしています。これまでの弘前大学 COI 拠点の成果を発展的に承継し、持続的に成果を創出する自立した産学官共創拠点の形成を目指すプロジェクトです。

(※2)岩木健康増進プロジェクトと弘前大学 COI 拠点

弘前大学が青森県弘前市岩木地区で2005年から継続実施している大規模合同健康調査で、約3,000項目という世界に例のない膨大な健診項目を設けることで、巨大な健康ビッグデータを記録しています。弘前大学では、2013年に文部科学省・JSTによる「センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム」に採択され、岩木健康増進プロジェクト健診の超多項目健康ビッグデータの解析により、認知症・生活習慣病などの早期発見を可能にし、予防方法の創出と検証を行い、その成果を社会実装する研究活動を弘前大学 COI 拠点で展開しました。(2013～2022年)

■プリメディカ

(会社ご説明)

重大疾患の発症リスクを早期に定量化する検査の研究開発/測定・解析/マーケティング・販売など予防医療に特化した事業を展開しています。脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査「LOX-index®」をはじめとする疾患リスク検査サービスを全国3,500施設以上の医療機関を通じて提供しております。

上記検査サービスを通じて、病気のリスク検査から始まる予防医療を世の中に広く浸透させ、「医療費の増加」や平均寿命と健康寿命の差がもたらす「介護負担の増加」といった現代医療が抱える構造的な課題の解決を目指すとともに、多くの人々の健康づくりをサポートしていきます。

【報道関係者の方向けお問い合わせ先】

株式会社プリメディカ

TEL 03-5776-1105

弘前大学医学研究科 事務部

TEL 0172-39-5538